

清友

No.126

2020年2月

(2020年2月4日発行)

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ5F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541



丹沢西端・大野山山頂より

1月18日、「新春の集い」を開催しました。会場は、飯田橋の中国料理店でも昨年と違う「福園」、リーズナブルなので、会費もお安くできました。丹野副委員長の司会で進行し、庄司会長は「安倍をこのままのさばらせていていいのか」と、闘う姿勢を強調した挨拶、来賓は、東京清掃西村副委員長、都庁退閑口事務局長（主税退）、自治退都本部岡田会長（福祉退）、清掃退職者会を思いっきり持ち上げた挨拶をいただきました。

今年も元気に 清掃退職者会 新春の集い

渡辺幹事の音頭で乾杯した後、懇親、酔いも回り満腹になつてきたところで、司会を戸枝事務局長にバトンタッチ、恒例の「参加者からのひとこと」へ。今年は昨年までと違い、長いしゃべりには規制が入りましたが、みんなおかまいなしに長いひとこと、固い話しかから柔らかい話しまで、各領域にわたる話題を



披露、大爆笑の連続でした。続いて、「長寿のお祝い」、今年喜寿を迎える方と、傘寿以上の方に記念品が渡されました。今年の運試しは「開運くじ引き大会」。各テーブル代表を選出し、ドラフト会議のくじ引きみたいに一斉に開封、一番福から順にテーブルごとに景品を選べる趣向に。こまごましたものでもお土産付は何となく嬉しいものですね。参加者は来賓を含めて27名。ここ数年では最多。その所為か例年以上に盛り上がりました。最後は、丹野副会長の音頭で団結ガンバロー。今年も明るく元気にがんばりたいと思います。



各テーブル代表による開運くじ引き（ドラフト会議みたい）



やった～あ！一番福だ～あ！



お花見ウォーク

- 日程 3月27日(金)
10時半 武蔵小金井駅前集合
- 場所 小金井公園
※武蔵小金井駅より小金井公園まで散策
小金井公園の「桜の園」を散策後、広場にシートをひるげてお昼(ビール付)
「江戸東京たてもの園」自由見学後解散

第13回定期総会

- 日程 6月12日(金)
10時受付開始の予定
- 場所 清掃会館地下ホール
※総会終了後、ランチ懇親会

春の健康セミナー

- 日時 3月6日(金)
13時15分開始
- 場所 清掃会館地下ホール
- テーマ 「頻尿」の仕組みと対策
- 講師 平野敏夫さん(東京清掃顧問医)
※午後3時(学習会終了後)から懇親会

「頻尿」でお悩みの方はかなりいるといわれています。原因を知り、対策を考えることで、既に症状の出ている方も軽減させる方法がみつかるかもしれません。健康で長生きするために何をしたらいいか、みんなで考えてみましょう。



20年度年金額0.2%引上げ

名目手取り賃金変動率0.3%増
マクロ経済スライド率0.1%減

厚生労働省は、1月24日、20年度の年金額を「0.2%引き上げる」と発表しました。

総務省調査の「19年の全国消費者物価指数」は、前年比0.5%上昇、「名目手取り賃金変動率」は0.3%でした。

年金額の改定は、「新規裁定者（68歳未満）は名目手取り賃金変動率」、「既裁定者（68歳以上）は物価指数」を考慮する仕組みですが、物価変動率、賃金変動率ともに上昇し

「マクロ経済スライド」とは

「現役被保険者の減少」と「平均余命の伸び」に基づきスライド調整率を設定、年金改定率から控除する仕組み。

● 20年度指数

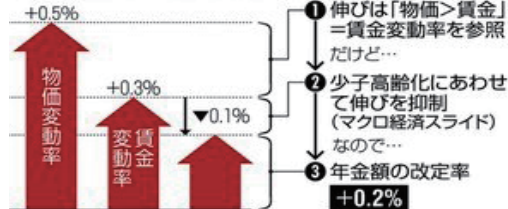
公的年金被保険者数の変動率(0.2%)×平均余命の伸び率(△0.3%) (2015～17年度平均)＝スライド調整率(△0.1%)

新年度からの年金月額……

	2019年度	2020年度
国民年金（1人分・満額）	6万5008円	6万5141円(+133円)
厚生年金（夫婦2人のモデル世帯）	22万266円	22万724円(+458円)

67歳以下の場合。改定率と金額は一致しない。モデル世帯は平均的年収で40年働いた夫と専業主婦、基礎年金を含む

今回の改定率の決まり方は？



た場合は「賃金変動率」を用いることになっています。一方、マクロ経済スライド調整率はマイナス0.1%（算出式は別記）となり、差し引き0.2%の増改定でした。物価上昇との関係では年金額は実質0.3%目減りします。

なお、マクロ経済スライド調整率が0.1%減に留まったのは、「年金被保険者数増加」が大きく作用しています。年金保険加入枠拡大の効果が明確な形になって現れています。



タイムドーム明石にて

流星群の正体は発光現象

有名なペルセウス座流星群やオリオン座流星群など、時々

1月12日に宇宙物理学部第7回イベント、銀座の「タイムドーム明石」で「流星群の正体とその予報研究」という講演を聞きに行きました。精鋭4名が参加、日本流星群研究会の佐藤幹哉さんによる「流星群の正体の謎と、流星雨等の予報研究成果報告」でした。

「宇宙物理学部」第7回イベント
流星群の正体の謎と流星雨予報

報道されますが、成立ちなど理解できていませんでした。

今回の講演を聞き、流星群・流星雨の正体は彗星の通り道にばら撒かれた1mm程度の物質が地球の大気と接触して発光する現象であることが分かりました。太陽の周りを微粒子物質などが彗星の軌道上で楕円状に回っており、彗星の軌道と地球の大気との接触が定期的に起こること、流星雨の予報が出来るそうです。今度ニュースなどで報じられたときは、興味倍増で観測できそうだと感じました。

次回は「はやぶさ2」

終了後、月島の「もんじゃ焼き」で反省会。今後の活動について意見交換、次回は、JAXA准教授吉川真さんによる講義「はやぶさ2の現在までの活躍」を受けることにしました。多くの方の参加をお待ちしています。（箱田）



1月14日、自主サークル「歩こう会」の「忠臣蔵の謎を考える」ミニツアーが行われ、14回目にしてこれまでで最大の14名が参加しました。

横に流れているのに
「堅川」とは、これいかに？
 錦糸町駅からミニツアーの始まり。「ここで問題です。堅川は地図で見ると横に流れているのに、何で『堅川(立川)』なんでしょう？」

答えは「江戸古地図は西を上」に描かれたから」なんです。

江戸の人の感覚では、北を上

に標示する現在の地図上で横に流れている堅川は、縦(立・堅)に流れる川だったんです。

吉良邸すぐそばに浪士潜伏 幕府は討入りさせたかった？
 最初の訪問先は両国高校。標示はありませんが、実は浅野の下屋敷、内匠頭が松乃廊下で刃傷に及び、即日切腹、改易、聖路加国際大構内にあった上屋敷没収後、武器や機材を運び入れ、討入りの基礎準備を行ったとされています。

堅川沿いに、赤穂浪士杉野十平次や堀部安兵衛潜伏地などの旧跡を巡り、一之橋や、鬼平所縁の場所跡など江戸時代の名残りも感じつつ、吉良邸へ討入り。屋敷の遺構をあれこれ探索し、吉良屋敷跡として住民の手により整備された本所松坂町公園を見学。米屋に化けた前原伊助が吉良邸前に潜伏し、吉良邸から1km圏内に出撃拠点となった安兵衛潜伏地があるなど、吉良方は油断し過ぎではないか。そもそも、浅野の縁者が多い本所に吉良の屋敷を移させたのは、幕府が赤穂浪士に仇討ちをさせたかったからなど諸説を披瀝、いっぱしの忠臣蔵通を楽しみました。

回向院で鼠小僧の墓参り 「ちゃんこ道場」でランチ
 討入り後、赤穂義士が入山拒否された回向院に押し入り、鼠小僧の墓を参ったところでお昼。両国駅前の「ちゃんこ道場」でランチ。

山鹿流兵法流行の因縁は？ 瑤泉院墓の位置はなぜ低い
 昼食後、地下鉄で泉岳寺。

赤穂義士の墓を参りました。ここでもいくつかうんちく……。仇討ちを果たした赤穂義士が泉岳寺まで歩いた際の隊列は、山鹿流兵法の行軍陣形。諸藩は赤穂義士を褒め称え、山鹿流兵法は流行し、後に吉田松陰や木戸孝允にも繋がっていたという歴史の因縁に。

浅野内匠頭妻瑤泉院の墓が義士の墓より一段低い位置なのは、義士に感謝した瑤泉院が「墓は義士より一段低い位置に」と遺言したからだとか。

ミニツアーは大成功でしたが、さすがに疲れた様子、泉岳寺で解散するとみなさんそそくさと家路を急ぎました。



清掃・人権 交流会

ハンセン病回復者石山春平さんのお話と家族訴訟を学ぶフィールドワーク

清掃・人権交流会は、各地を訪れて差別の歴史や現実を学び、差別と闘う人々との交流を行なうため、フィールドワークを重ねている。

昨年12月8日、「ハンセン病回復者ご夫婦のお話を聞く横浜フィールドワーク」を実施した。19年6月のハンセン病家族訴訟勝訴、11月の家族補償法と改正ハンセン病基本法成立を契機に、改めてハンセン病と差別・偏見について学ぼうと23人の仲間が集まった。

■ハンセン病差別は国の責任

ハンセン病の伝染力は極めて弱いにもかかわらず、「すぐ伝染する怖い病気」という誤った認識を国が率先してひろめ、国中に差別と偏見が蔓延した。戦後も、戦前から続く「強制隔離」「断種」等「ハンセン病患者を根絶やしにする」差別政策が続けられ、被害は強制隔離された患者や回復者にとどまらず、家族も強い差別にさらされて苦しんできた。

■小学6年生から差別の中で

ハンセン病回復者石山春平さんのお話しは少年時代から始まった。小学6年生でハンセン病にかかり、突然学校からたたき出され、家では納屋に隔離され、表に出れば石を投げられ罵声を浴びる生活が5年。絶望し自殺しようとしたが思い留まり生き延びることを決意。静岡県神山復生病院で15年間療養生活を送る。療養所では強制労働が繰返され、石山さんも過酷な作業により、病気で感覚を失った手足に重い障害を負っている。

■差別に負けず全力で生きる

明るい性格でバイタリティーを発揮、病院職員の絹子さんの心を射止め社会復帰。ハンセン病回復者が健常者と結ばれるのも稀なのに、二人で力を合わせ3人のお子さんを育て、仕事でも地域でも活躍し続けた。全国初の障害1級者での自動車免許取得や、春平さんの父の葬儀参列を許され

なかった時の絹子さんの悲しみと怒りなどが語られ、胸を打った。

■病歴告白し真正面から闘う

元気に活躍しながら、病気のことを率直に言えなかった石山さんは、「らい予防法違憲・国賠訴訟」を契機に病歴を告白しカミングアウト。数多くの講演会をこなしたハンセン病の差別・偏見と闘い、狭山事件の応援なども行っている。

■絹子さんと共に闘った人生

絹子さんも家族として差別や偏見にさらされてきたが、今は夫婦で講演する機会も多く、ハンセン病家族訴訟の勝訴を励みに、さらに一歩進もうとしている。絹子さんのお話しながら病気で来られなかった。その存在を春平さんは「宝物」と言う絹子さんの一日も早い回復を心から願う。(押田)



体験を語った石山春平さん(左)と支援活動が続ける濱崎眞実さん

毎年行なっている芝浦と場見学・交流会を19年11月11日・12日の2日間実施した。

今回の見学・交流会には延べ45名参加。各日とも食肉市場内の現場見学、午後には豚のセリやDVDを鑑賞、仕事から上がって駆けつけたと場の仲間との交流会。各支部の新規採用や若手参加者が多く、途切れることなく質問や意見感想が出され、時間を超過するほど熱心な会となった。

参加者から「実際に見てよかった」「技術の高さに驚いた」「と場労働者差別が今もあるのは許せない」などの熱い感想が寄せられている。(押田)

芝浦と場見学・交流



「お肉の情報館」にて

東京清掃団結旗開き 2020

今年も現役世代とともに闘おう



1月16日、東京清掃の新春団結旗開きがホテルメトロポリタンエドモントで開催され、各友誼組合、各級議員、当局、各関係団体、本部・支部等約270名が参加しました。

中里委員長は、「昨年の台風による大規模災害の復旧・復興支援や、被災した世田谷・大田の取組みなどを通じて発

揮した現場に精通した清掃職員の対応力、組織力の重要性」を強調し「長い年月をかけて培ってきた豊富な知識と経験を次代へ継承していくことが東京清掃に課せられた使命だ」と挨拶をしました。

来賓挨拶は、座光寺自治労働本部委員長、小宮山特区連書記長、山崎区長会会長（江東区長）と、岸

国会論戦の決意を示す岸まきこ参議院議員

まきこ参議院議員。岸さんは「桜を見る会など安倍一強政治による腐敗を許さない」と国会論戦に対する決意を示しました。

乾杯は庄司会長が発声。その後、懇親に移りました。

今年も東京清掃を取巻く環境は厳しいものが想定されます。退職者会は引き続き精一杯応援していきます。



武力で平和はつけない

主催者は挨拶の中で「安倍政権は、閣議決定のみでイランのホルムズ海峡周辺に自衛隊を派遣した。安保関連法成

自衛隊中東派兵反対! 桜を見る会徹底追及!
安倍9条改憲NO! 安倍内閣退陣!

1月19日、今年初めての19日行動、国会前に1700人参加し、「自衛隊中東派兵反対!」「桜を見る会徹底追及!」「安倍9条改憲NO!」「安倍政権退陣!」等とコールしました。

立後、自衛隊の役割は拡大・変質している。昨年12月に亡くなったペシャワール会の中村哲さんはイラク自衛隊派遣審議の国会意見陳述で『自衛隊の派遣は有害無益だ。武力で平和はつけない』と言った。まさにそのとおりだ。違憲・脱法を繰返す安倍政権に負けずに闘おう。」と、安倍政権追及と改憲阻止を訴えました。

人権・多様性無視は許せない

立憲野党からの発言では、立憲民主党岸まきこ参議院議員の「麻生副総理は『ひとつの民族』発言をした。人権や多様性を無視した閣僚は許せない。北海道出身でもあり怒りを感じる。」という言葉が印象的でした。続いて、宮古島の自衛隊基地反対運動などから、民意も国会論議も無視・軽視する安倍政権を一日も早く退陣させようとの発言がありました。「市民と野党の共闘」を今年も強力に進めていくことが確認された集会でした。